

1 研究主題

「人、もの、自然と関わり、学びを深める総合の授業づくり」

2 研究の概要

(1) 講演会(第1回部会)

- ① 日時・会場 6月3日(水) 15:15～16:40
吉田小学校
- ② 講師 新潟大学教育学部附属新潟小学校
主幹教諭 金 洋輔 様
- ③ 演題 「総合的な学習の時間の授業づくりのポイント」
- ④ 内容

学習指導要領が求めていることは、「協働的な学習」「探究的な学習」であり、2つの学習のイメージを解説していただいた。その上で、単元・授業づくりのポイントとして、実践例を通して、次の3点を講義していただいた。

ア 内容を明確に設定すること

イ 単元に3つの質が異なる体験活動を位置付けること

ウ 3つの体験活動が主体的に行われるように、教師が適切に働き掛けること

(2) 授業研究(第2回部会)

- ① 日時・会場 12月2日(水) 14:00～16:40
燕東小学校
- ② 授業者 燕東小学校 石田 到 教諭
- ③ 指導者 聖籠町立亀代小学校 教頭 須貝 克徳 様
- ④ 内容

ア 授業の概要

「発見! 街のピカ1名人」(第3学年)

2年生の生活科の学習や3年生の社会科の学習を生かし、自分たちの町のお気に入りの場所を友だちに紹介しあう活動を行った。

イ 協議と指導の概要

何度も学習対象とかかわり、学習対象への思いを高めた子どもたちに、学習対象の悩みや思いを伝えることで、子どもたちの課題が明確になり、課題解決への意欲が高まった。ただ、名人の思いや悩みをさらに焦点化させたり、「人」のすごさを実感させたりする教師の働きかけが必要であった。

「学習対象」「学習事項」「学習課題」「見方・考え方の変容」を明確にし、探究のスパイラル(課題設定→情報収集→整理・分析→まとめ)の様相を指導計画の中に位置付けていくことが重要である。さらに、子ども自身が自分にどのような力が付いたのかを自覚できるようにさせていくことが大切である。

3 成果と課題

子どもたちに価値ある課題を追求させ、総合的な学習の時間に意欲をもたせたいと、総合部では考え研修を始めた。石田教諭の実践と金先生、須貝先生のご指導から、単元・授業づくりで教師がどのように体験活動を位置付けるか、また名人(外部講師や地域の方々)から評価してもらい、子どもたちの追求のエネルギーへと変換させてくのかを明確にすることができた。次年度も、子どもたちが進んで課題追求に取り組むための手立てについて研究授業を通して研修を行いたい。

